障がいのある人とその家族が
地域の中で尊厳を保ちながら
普通の暮らしが出来るよう支援する

NEWS

社会福祉法人
京都障害者福祉センター

7月号
No. 225 R4/7/1
編集：支援センター
発行：本部事務局
http://www.kyofc.or.jp

～新型コロナウイルス～感染再拡大に警戒を～

6/20(月)～6/26(日)の市内の新規感染者数は前週比-88 名の 1,296 名で、前週比 93.6%の微減となりました。

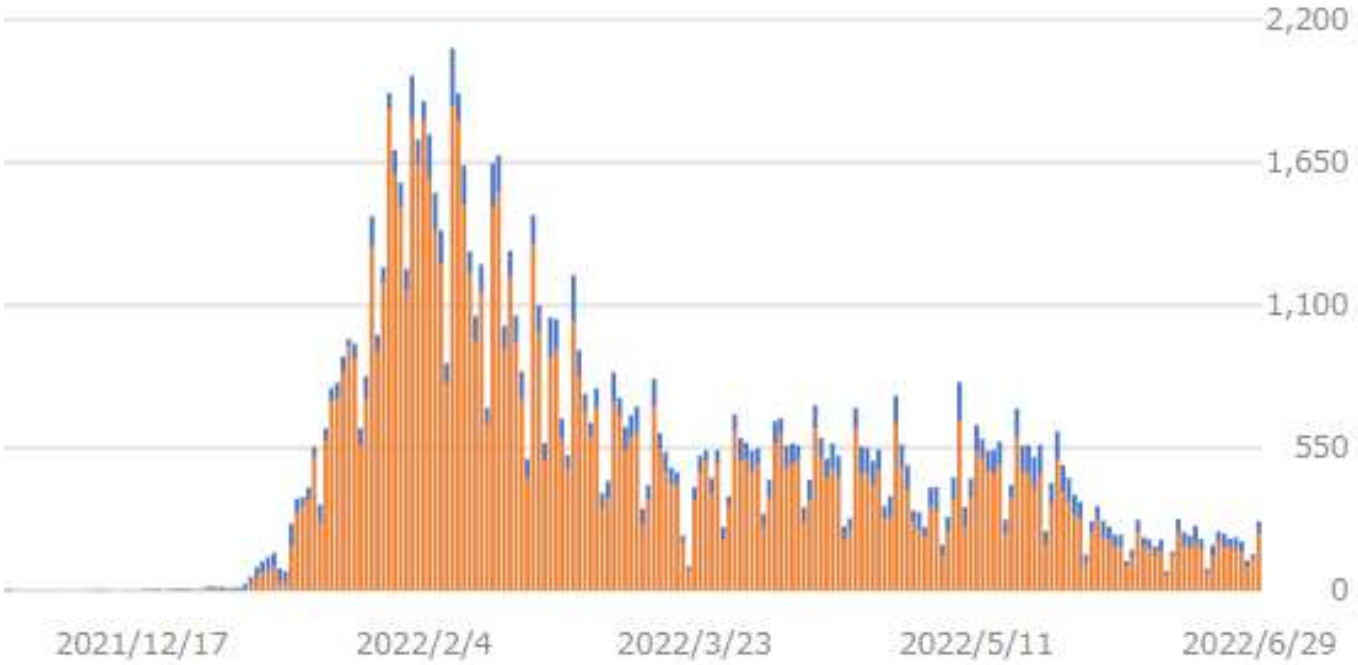
しかしながら、全国的に下げ止まりの状況で、新規感染者が増えている地域もあり、感染再拡大が懸念されます。

専門家は「ワクチンなどで重症化は抑えられている」としたうえで、感染防止策を継続するよう呼び掛けています。

当法人の施設では、職員、職員の家族、利用者及び利用者の家族で、ＰＣＲ検査を受けられる事例が先月６月は２件（５月：６件）で、累計で 224 件となりました。

職員の皆さんにおかれましては、引き続きマスクや手洗いの徹底、密の回避（1 密にも留意）、換気や湿度調節など、基本的な対策を継続していただきますようお願いします。

京都市内の感染者数（日別）



令和４年度第１回理事会が開催され、令和３年度決算・事業報告等が承認されました。

令和４年度第１回理事会が、理事、監事出席の下、６月１日（月）午後２時から、洛南身体障害者福祉会館において開催されました。

理事会では、令和３年度決算・事業報告等について審議され、監事から監査報告がなされた後、原案どおり承認されました。

また、京都市所有地の京都市への有効活用提案や資産運用計画及び実施状況について、活発な質疑が行われました。

◎審議事項
第１号議案　令和３年度第３次補正予算案について
第２号議案　令和３年度決算について
第３号議案　令和３年度事業報告について
第４号議案　京都市所有地の京都市への有効活用提案について
第５号議案　定時評議員会の招集事項について
◎報告事項
①　新型コロナウイルス感染症への対応と影響について
②　来年度新卒者採用募集について
③　資産運用計画及び実施状況について

令和４年度定時評議員会、第１回評議員事業報告会が開催され、令和３年度決算について承認されました。

令和４年度定時評議員会が、評議員、理事、監事出席の下、６月１６日（木）午後２時から、京都テルサにおいて開催されました。

定時評議員会では、令和３年度決算について審議され、原案どおり承認されました。

市の補助金削減への影響や対応、BCP（事業継続計画）の策定について、コロナ禍における利用者の工賃への影響等について、活発な質疑が行われました。

◎審議事項

第１号議案　令和３年度決算について

◎報告事項

令和３年度事業報告について

引き続き、令和４年度第１回評議員事業報告会が開催されました。

報告事項は次のとおりで、京都市所有地の京都市への有効活用提案等について、活発な質疑が行われました。

①　新型コロナウイルス感染症への対応と影響について
②　京都市所有地の京都市への有効活用提案について
③　指定管理者申請状況について
④　資産運用計画及び実施状況について
⑤　「第２期中期経営計画」（令和３年度実績報告）について
⑥　令和４年度評議員会等の年間開催予定について

（本部事務局）

洛南エリアTOPICS　【洛南デイ あすなろ】

初夏の外出レクリエーションで気分転換！

「あすなろ」では、６ 月に初夏の外出レクリエーションを実施しました。

感染予防の為、午前または午後で、半日の行事となりましたが、「イオンモール KYOTO」、「東福寺」、「ドライブ」の中から、希望の行き先を選んでいただきました。皆さん久しぶりの外出レクを満喫されていました。

イオンへ買い物に行かれる方の中には、事前に「何階の〇〇〇の店に行って△△△を買いたい！！」と意気込んでおられる方や少し奮発してお買い物を楽しまれる方もおられました。

ドライブでは、車窓から見える風景を楽しまれたり、城南宮で記念撮影をしたり、のんびりとした時間を過ごされていました。

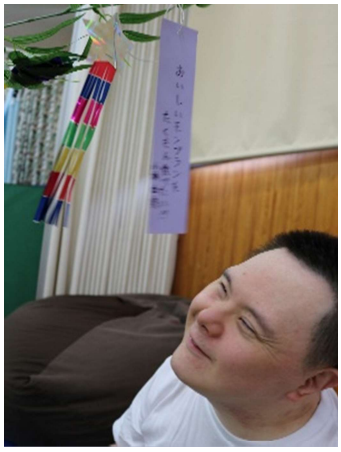
梅雨が明け、暑い日が続きますが、元気に過ごせるよう、基本的な感染対策と水分補給を行い、夏を乗り切りたいと思います。

（洛南障害者デイサービスセンター「あすなろ」：武甕 凜）

伏見エリアTOPICS　【伏見デイサービスセンター】

夏はもうすぐそこ！
笹の葉飾りと花火をつくりました。

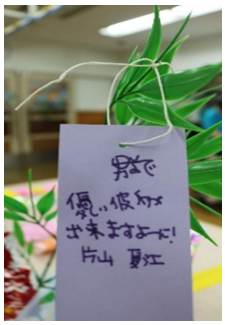
連日 30℃越えの暑さの中でもパワフルな伏見デイの利用者さんたち！もうすぐ七夕の季節ということで毎年恒例の笹の葉飾りをしました。小さな笹にたくさんの短冊や七夕飾りが吊るされていて、夏の到来を感じさせます。



短冊にはそれぞれ個性の光る願いが書かれており、好きなケーキが食べたいという願いもあれば、好きな芸能人に会いたいという Big な願いもありました！利用者さん同士でお互いの願いを話題にしながら楽しい時間を過ごされていました。

完成した笹飾りを見つめながら「七夕」を歌う利用者さん。

みなさんの願いが叶うといいですね。



どれみふぁ荘（分室）では夜空に輝く打ち上げ花火を作りました。

ちぎり紙やクレヨンなど様々な素材を用いて、「細かく紙をちぎる」「しっかり色を塗る」とそれぞれの持つ得意なことを活かし、色とりどりの花火が出来上がりました。

他にも穴あけパンチを使った作品は火花のしぶきがよく表現されています。普段は捨てられる素材も、創作に取り入れることで厚みのある鮮やかな作品となりました。実際の打ち上げ花火は一瞬で消えてしまいますがどれみふぁ荘の花火は利用者さんのそばでキラキラと輝いています。

（京都市伏見障害者デイサービスセンター：竹迫 綾乃）

山科エリアTOPICS【放課後等デイサービス すてーじ】

季節の創作活動

今年度は壁面創作に力を入れています。
４月は桜、５月はこいのぼり、６月はあじさい、雨、カエルなど、季節を感じられる題材を選んで取り組んでいます。

作業はそれぞれの特性に応じ、拘縮がある方は主に押す・貼るといった作業を、意欲を持つ・集中力を維持することが難しい方は、作業を行ったら好きなことができる時間を作る等、それぞれが持つ能力を引き出せるような工夫をして活動に臨んでいます。

作業を通して、「こんなことができるようになったんだね」と成長を感じることができたり、個性あふれる色使いを見ることができたりと、利用者さんの新たな一面を発見できる貴重な機会となっています。
そのような体験を経て、みんなで力を合わせて一つの作品を作り上げた時の達成感は感慨深いものがあります。
作品は、京都東野障害者福祉センター２階に展示しています。
お立ち寄りの際はぜひご覧ください。

（放課後等デイサービス「すてーじ」：李 宗佑）

医療的ケア児支援にかかる新たな取組みについて

らくとうの所属する東部圏域（東山区・山科区・伏見醍醐）にお住いの障害のある方の困りや課題について東部圏域の自立支援協議会で調査し、まとめたものを毎年各圏域から京都市へ報告することになっています。なかでも、医療的ケアの必要なお子さんの総合支援学校への送迎についての課題がすべての圏域であげられています。

医療的ケア児について
◆医療的ケア児とは、医学の進歩を背景として、ＮＩＣＵ等に長期入院した後、引き続き人工呼吸器や胃ろう等を使用し、たんの吸引や経管栄養などの医療的ケアが日常的に必要な児童のこと
◆全国の医療的ケア児（在宅）は約２万人〈推計〉
◆歩ける医療的ケア児から寝たきりの重症心身障害児までいる
◆生きていくために日常的な医療的ケアと医療機器が必要
例）気管切開部の管理、人工呼吸器の管理、吸引、在宅酸素療法、胃瘻・腸瘻・胃管からの経管栄養、中心静脈栄養等

※以上厚労省 HP より抜粋

医療的ケア児の総合支援学校への送迎になぜ課題があるか？

総合支援学校の通学には、スクールバスを利用できるが、人工呼吸器、吸引、酸素ボンベ等が常時と言わず必要な医療的ケア児をスクールバスに乗せる事はできないことになっています。スクールバスに乗れない医療的ケア児は、家族等が自家用車又はタクシー等で学校へ送迎している現状で、ご家族で送迎が難しい場合（自家用車がない、交通費負担の困難なご家庭など）は、在宅で教員が訪問する訪問教育を受けることができます（頻度は個別違います）。

スクールバスに乗れない医療的ケア児を学校まで送迎する保護者の負担を軽減できないか、医療的ケア児への教育の保障について、各圏域の協議会から京都市へ課題として提出しています。

新たな取り組みについて

京都市としても、医療的ケア児の課題について検討する場を持ち、スクールバスに乗れない医療的ケア児の課題について、教育委員会から、今年９月から、『医療的ケアが必要な児童生徒の通学支援』を実施する方向性を示されました。

概要としては、スクールバスに乗れない医療的ケア児の保護者負担の一部軽減を図るとして、看護師同乗の福祉タクシー等による学校―自宅間の送迎にかかる経費を補助する予算を確保したというもの。

実際に毎日通学する経費をどこまで補助してもらえるのか、看護師はどう確保するのか等の詳細についてはこれから検討されるにしても、まずは学校への通学を京都市教育委員会が支援するという方向性を示されたのは大きな一歩だと感じています。

今年度より、東部圏域で新たに『医療的ケア部会』が設立され、圏域内にお住いの医療的ケア児者のニーズ把握から始めるところで、部会を構成する部会員に病院のソーシャルワーカー、訪問看護ステーション、居宅支援事業所、放課後等デイサービスに参加をいただき、今年度はすてーじの小島主任に部会長を務めていただくことになりました。

当法人にも医療的ケアを必要とするご利用者を受け入れている施設がすてーじ含め複数あります。現状でも医療的ケアを必要とする子どもの支援が増えてきていることから、成人になられてからもより一層のニーズがあがってくるものと予測されます。

地域にお住いの医療的ケア児のニーズを把握し京都市へ発信することが、今年９月から実施される予定の通学支援につながったこと、また地域で医療的ケアの必要な方に従事する支援者と部会を通して横のつながりを持てるようになったことについて、法人の皆様にお伝えしたくニュースにしました。

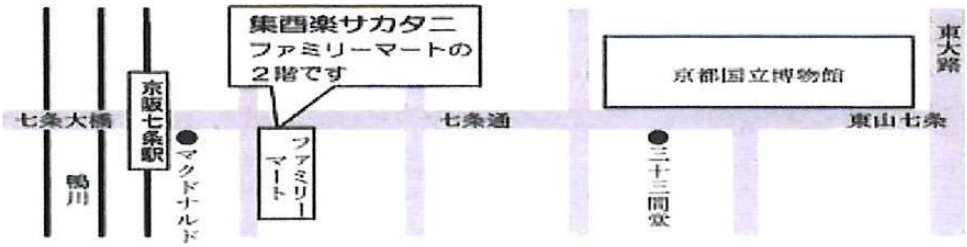
（京都市東部障害者地域生活支援センター「らくとう」：山下　笑子）

PR コーナー　【大河内絢子　油絵展】

大河内絢子　油絵展

太陽がいっぱい

2022　7月１日（金）～３１日（日）
（10:00～18：00）月火水は休廊



京都市東山区七条通本町西入日吉町 222 番地
（京阪七条下車　東へ徒歩１分　ファミマ２Ｆ）
集酉楽（syu-yu-raku）サカタニ　電話　075-561-7974

大河内携帯　090-4495-0895